

| No. | 月日    | 曜日 | 啓発内容         | 団体名           | 参加人数 |
|-----|-------|----|--------------|---------------|------|
| 1   | 6月9日  | 月  | 施設見学         | 津屋崎小学校4年生     | 66名  |
| 2   | 6月11日 | 水  | 施設見学         | 津屋崎小学校4年生     | 33名  |
| 3   | 6月21日 | 土  | 施設研修・見学      | 日本経済大学        | 7名   |
| 4   | 6月21日 | 土  | 施設研修・見学      | 町川原2区福社会      | 26名  |
| 5   | 6月25日 | 水  | 施設見学(保護者13名) | 舞の里小学校4年生     | 52名  |
| 6   | 6月26日 | 木  | 施設研修・見学      | 古賀市新転任管理職     | 8名   |
| 7   | 6月30日 | 月  | 施設見学         | 津屋崎小学校4年生     | 64名  |
| 8   | 7月3日  | 木  | 施設研修・見学      | 古賀高等学校組合      | 6名   |
| 9   | 7月9日  | 水  | 施設研修・見学      | 福津市(人権擁護委員等)  | 11名  |
| 10  | 7月14日 | 月  | 施設研修・見学      | 下関市立大学・長崎県立大学 | 34名  |
| 11  | 7月23日 | 水  | 施設研修・見学      | シニアクラブ(鹿部区)   | 14名  |

1. 施設見学(津屋崎小学校4年生) 6月9日(月) 66名



2. 施設見学(津屋崎小学校4年生) 6月11日(水) 33名



7. 施設見学(津屋崎小学校4年生) 6月30日(月) 64名



### 津屋崎小学校【先生の感想】

○今回、見学をさせて頂きありがとうございました。し尿処理施設の見学は今までに経験がなく、子どもたちと同じように驚くことばかりでした。施設見学にとどまらず、人権的な面での学習もできたので、さらに子どもたちの中でも深く学べたと感じています。見学中興奮もあり、大きな声を出す場面もありましたが、最後まで暖かく引率していただきありがとうございました。

○社会科の学習の観点ももちろん大事だがし尿処理施設のイメージ（くさい・きたない）などが間違っていて、社会にとって重要な施設であると子どもたちが実感できたことが良かったと思います

### 津屋崎小学校【児童にどのような変化が見られたと思うか】

○お母さんが料理で使った油を台所にそのまま流していたから、正しい処理をしないといけないと話したよや、海津木苑のことをお兄ちゃんに話したよなど家庭に持ち帰って話題にしていました  
お父さんの仕事を学習していたので「汚いところ」など偏見をもった児童はいませんでした。

○仕事をしている人に対する偏見がなくなったように感じます。どの仕事も必要で大切だということがわかり将来なりたいものについて堂々と言っている子が増えたように感じます

### 津屋崎小学校【授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか】

○人権同和教育は、1年生のころから積み上げていく学習だと考えています。学校のカリキュラムを6年間で計画的に組んでいって初めて4年生の後半の段階で「差別」や「偏見」を理解できると思います。海津木苑で素晴らしい生きた人権学習をさせていただけたことはありがたいことなので、学校の中でも人権について逐一話して行って海津木苑さんの学習をより良いものにしていきます。

○働く人たちの仕事ぶりを実際に知ることでどんな職業に対しても感謝や尊敬の気持ちをもつ大切さを伝えていきたいと思います。また、かつてし尿処理に関わる仕事を「きたない」「差別的」とする見方がされてきたことを理解し、1つの思い込みで傷つく人がいること、最悪の場合死に至る人がいることなど伝えて差別・偏見について考える機会にしたいと思います。

3. 日本経済大学 6月21日（土） 7名

◇よく理解できた 4名 ◇理解できた 3名

写真省略

○普段から、何も考えずにしているし尿などがどのような形で処理されているのかを軽くですけど知れて面白い時間になりました。ありがとうございました。

○貴重な経験をさせていただきありがとうございました。過去の経験を活かして造られた施設がすばらしかったです。

○この建物の周辺が食品工場団地ということで、並みならぬ覚悟と決意を感じました。とても素晴らしいと思いました。この施設のおかげでこちら一帯の衛生は守られていると感じました。

4. 町川原2区福祉会 6月21日(土) 26名

◇よく理解できた 13名 ◇理解できた 8名 ◇おおむね理解できた 5名

写真省略

○施設の特徴、役割が良くわかりました。この施設の素晴らしさに古賀市民として誇りに思います  
○こんな近くに私たちの大切な、身近な、生活に欠かせないことをやってくださっていることがよくわかりました。

○私たちの地域で現在、下水道を使用していますが、その前は処理を大変お世話になっていたことが解ってよかったです。大変なお仕事だと思いました。

5. 施設見学(舞の里小学校4年生)保護者13名 6月25日(水) 52名

写真省略

◇よく理解できた 9名 ◇理解できた 3名 ◇おおむね理解できた 1名

舞の里小学校【保護者の感想】

○海津木苑の建設経緯が興味深かったです。アニメを介して、子どもたちにもわかりやすく伝わるような工夫がされていることにも驚きました。あととてもキレイで臭いが全くないことにとても驚きました。暮らしに欠かせない施設を身近に感じることができ、とても勉強になりました。

○説明のスピードもちょうどよく、子どもでも理解しやすい映像などですごくわかりやすくてよかったです。

○今日、ご説明いただいた皆様がとてもおだやかに、分かりやすいお話をいただいたので、落ち着いた気持ちでいろいろ学ぶことができました。とてもきれいな施設で、機械などはもちろんごみひとつ落ちていなくて古賀市民としてとてもうれしい気持ちになりました。

○処理のことについてや、歴史についてなど分かりやすく教えていただきありがとうございました。家庭でも子どもたちと話をしたいと思います。様々な工夫をされていて私たちが安心して生活できていると改めて思いました。自分たちもできることを子どもと考えて取り組んでいきたいと思ひます。

### 舞の里小学校【先生の感想】

○事前にし尿処理について歴史のことなども学習した状態で、見学に行かせていただきましたが施設に携わる方に説明していただいたり、実際に見せていただいたり、思いを聞かせていただいたりすることで、学校での学習をより一層深めている子どもたちの様子が見られました。また私は新しい施設に子どもたちと行かせていただくのは2回目でしたが、何度もお話を聞くことで、1回目よりもこれまでのし尿処理と今のし尿処理、思いなどのつながりを感じることができました。やはり繰り返し学習するというのは子どもにとっても大人にとっても大切だと改めて感じました。

### 舞の里小学校【児童にどのような変化が見られたと思うか】

○学習は、まだ続いていますがこの見学前と後で、「し尿処理施設」に対してのイメージだけではなく「し尿」に対してのイメージが変わった児童は多くいました。見学前は96%の児童がし尿に対して「くさい・笑われそう」等のマイナスイメージを持っていましたが、見学に行った後は、マイナスイメージは18%の児童のみでした。「健康に欠かせないもの・だれでもするもの」等のイメージが増えていました。また、虹の話や働く人の思いを聞いたことで、自分たちも偏見はダメと言いつつも偏見の心を持っていることに気づくことができていました。

### 舞の里小学校【授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか】

○今回の子どもたちの変容から自分たちの中にあつた「偏見の心」に気付かせ、それをなくすにはどうしたらよいかを学年全体で話し合っていきたいと考えています。また、そこから子どもたちの意欲やアイデアにもよりますが、全校に調査したり自分たちの学びを伝えたりすることで、学びをここで終わらせないようにしていきたいと考えます。

### 6. 古賀市新転任管理職研修 6月26日（木） 8名

◇《とても理解できた 8名》

写真省略

○ゴミ処理やし尿処理は私たちの生活にとって死活問題ともなる大切なことであるけれども、映像にあつたように嫌がられたり、拒否されたりすることも少なくない。2代目の海津木苑からはそのようなことがないように、私では解らないくらい多くの方々が努力し、考え、知ってもらふことで差別をなくしていこうとされていることに感銘を受けた。本日、学ばせていただいたことを学校に持ち帰り、職員や子ども達の学びに活かしたいと思ひます。

○古賀にきて9年目になりますがこの日をとつても楽しみにしていました。4年生の担任になれず見学の話があつた時すぐにコロナ禍になり、工事も始まりと管理職の先生たちが行かれるのを毎年うらやましく思っていました。施設の歴史と命（健康）を守ることは子どもたち、職員にも知つてほしい。そしてそこからさまざまなことを学び、広めてほしいと思ひています。保護者見学も増えてきているので、施設の大切なについてもっともっと多くの人がかれからも実感してほしいと思ひます。

8. 施設研修・見学（古賀高等学校組合） 7月3日（木） 6名

写真省略

○特にセンターへ持ってくる車の方々に対する気配りも大事にされている（風評被害がない工夫）をされていることや、常にマイナス要素をなくす工夫をされていることが印象に残りました。トイレはなくならないし、人間が最も大切なことだと改めて実感しました。  
○私たちの知らない所で、様々な工夫がされ、人々の生活に対する気配りに大変驚きましたし、これまでの多くの方々のご苦労や強い思いに感動いたしました。

9. 施設研修・見学（福津市人権擁護委員・保護司・更生保護女性会員） 7月9日（水） 11名

写真省略

◇よく理解できた 10名 ◇理解できた 1名

○海津木苑がし尿処理施設としてではなく、人権啓発の拠点となっている点に感銘しました。今後も「排育教育」を通して人権の啓発に努めて頂けるよう期待しています。  
○し尿処理施設と聞くとやはり臭いがするのでは？施設も古いなど、あまり良いイメージを抱いていませんでしたが、今日見学をさせていただいて大きく変わりました。子どもたちにもたくさん見学してほしいと思います。  
○福津市の広報に載っていたのですが改めてこの施設を知ることができました。色々な思いで建てられたこの施設を皆に知ってもらいたいと思いました。

10. 施設研修・見学（長崎県立大学・下関市立大学 7月14日（月） 34名

写真省略

○部落問題や統合での問題などの様々な課題を乗り越えて、運営していると理解することができた。し尿処理などの理解を深めるために、学校などで教育をしていることにとっても興味を抱いた。また、し尿処理施設の近くに食品工場が点在しているところが他の施設との違いだと理解することができた。

○海津木苑の視察では今まで考えたことのないし尿処理の現場を知ることができた。意外であったのはこの施設ができたきっかけとして部落問題が関係しているとのことだ。今では迷惑嫌悪施設のような言葉でごみ処理場や火葬場などが挙げられ、反対運動などが話題となるがそのような歴史的な背景があると知り、複雑でただ空いているところに作ればいいという単純ではないと思った。加えて、周辺に食品加工工場が複数存在している様子は非常に印象に残った。担当の職員の方のお話しでは業務にあたり熟練の勘や技術が必要となる工程があると伺ったため、技術の継承や若者の参画が今後重要になると感じた。

#### 11. 施設研修・見学（シニアクラブ（鹿部区）） 7月23日（水）14名

写真省略

◇よく理解できた 10名 ◇理解できた 3名 ◇無回答 1名

○海津木苑の建設過程が理解できた。施設は環境に配慮されており素晴らしいものでありました。  
○近くにこんな立派な施設があるのを知りませんでした。色々なことに配慮されていて素晴らしいと思いました。  
○し尿処理場については、よく解っていませんでしたが、食品団地の中にあるという意味がよくわかりました。



生産者交流企画じゃがいも掘り体験

### ほっこり笑顔の収穫体験

あんずの里市主催のじゃがいも掘り体験が、6月15日に開催されました。あんずの里市組合員の農家の皆さんとの交流事業として、参加者に実際に畑に入って土に触れ、じゃがいもを自分の手で収穫する喜びを味わってほしいという思いで開催されています。

当日、農家さんたちが見守る中、親子連れなど、たくさんのかたが参加し、前日の雨で水がたまっている所もありましたが、参加した皆さんは次々と出てくるじゃがいもを夢中で掘っては袋に詰め込んでいました。参加した子どもたちは、収穫したじゃがいもを食べるのを楽しみにしていました。



▲形や大きさが違うじゃがいもを収穫した子どもたち

津屋崎小学校4年生がし尿処理施設を見学

### バキュームカーに興味津々

福津・古賀市内の汲み取り式便所のし尿や浄化槽の汚泥などは、古賀市にある汚泥再生処理センター「海津木苑」で処理されています。6月初旬、津屋崎小学校4年生が、福津市の小学校で初めて施設見学を行いました。施設内を見学する前に、市内で一般廃棄物収集運搬業を営む有限会社津屋崎サニタリーがバキュームカーの実演を披露すると、普段見ることができない実演に児童たちは興味津々。「バキュームカーのホースはなぜそんなに長いのか」といった質問に、津屋崎サニタリーの田原さんが丁寧に答えていました。



▲バキュームカーを指差しながら児童の質問に答える田原さん

子どもたちの成長応援体験プログラム

### 遊びと学びで水辺の達人に

一般社団法人 水辺フィットネス協会は、子どもたちが海の楽しさを知り、危険を学び、水辺で自分の身を守り、そして周りの人たちの安全を守るようにと「海のマイスタープログラム」を開催。6月から7月にかけて行われ、心肺蘇生法などを楽しく体験するプログラムです。

6月1日には、小学3年生から中学生までの15人が参加し、ウエットスーツやライフジャケットの正しい着用方法を学び、実際にライフジャケットを着て海に浮かぶ体験を行いました。子どもたちは冷たい海水に歓声を上げ、海と楽しく触れ合っていました。



▲ライフジャケットを着て海に浮かぶ子どもたちと講師